

# 桜竹梅

平成20年 4月号

発行所 医療法人 仁栄会  
〒780-0066  
高知県高知市比島町 4丁目 6番22号  
TEL 088-823-2285  
FAX 088-824-2363  
発行者 島津 栄一  
ホームページ  
<http://www7.ocn.ne.jp/~shimazhp/>



## ご挨拶

理事長 島津 栄一

隣の交通公園の桜は散りかけていますが、山桜や木々の新芽が萌え始め山肌の美しい季節になり、生命の息吹を感じる頃となりました。

島津病院にも、昨年秋からこの春までに2つの大きな慶事がありました。

1つは昨年11月に「島津クリニック比島」を開業し、12月に併設している「有料老人ホームひじま」、「小規模多機能型居宅介護ひじま」を開設する事ができました。

「島津クリニック比島」は、采元院長・中田先生を迎えスタッフも充実し、入院・外来ともに患者様も増えています。

最新のコンピューター制御装置「フューチャーネット」を導入し、間接照明による柔らかな明るさで、体に直接風が当たらない冷暖房を備えた、広くて清潔な透析室では、既に60名以上の患者様が快適な透析を受けています。

行政・医師会・地域住民の皆様・関係各位のご協力の下に開設できたことを心より感謝いたします。

次に今年2月19日・20日ついに念願の日本医療機能評価機構を受審し、4月5日その中間的な結果報告が届きました。その結果は、142項目中3項

目が「留意事項相当」であり、その他は「適切に行われている」・「中間」であり合格であった。「留意事項相当」は①輸血用血液製剤の保冷庫には他の物を入れず、専用とすること、②オートクレーブに生物学的インジケーターを採用すること、③臓器移植を希望する患者様のマニュアルを整備することの3点でした。いずれも簡単に改善できるものであり、既に購入すべく発注している物もあります。1ヶ月以内に補充的な審査を受審する事にしました。

2年前、病院機能評価機構を受審する事を決定し、その中心的役割を事務長が担い、医師達も積極的に参加し、看護師長はじめ各部署の責任者の努力の結果、受審する事が出来ました。受審という大きな目的のために心を一つにして、病院の改造、各種委員会の組織的運営に取り組むなど夜遅くまで一緒に働けたことを嬉しく思います。またこのような素晴らしいスタッフに囲まれていることを誇りに思います。

今後も、安全で高度な医療を提供すると同時に、地域医療・高齢者の介護にも尽力して参りたいと思いますので、暖かいご支援ご指導のほどよろしく申し上げます。

## 透析だより

日本では慢性透析患者が23万人を超えようとしています。新規透析導入患者で原疾患として多いのは、糖尿病性腎症、慢性糸球体腎炎、他にも腎硬化症、のう胞腎などがあります。医学、治療学の進歩から考えると患者数が減少すると思いますが増加傾向なのです。その理由に生活習慣病としての糖尿病が増え、三大合併症の一つに糖尿病性腎症になり最初は尿に極少量のAlb（血液の中の蛋白質の一つ）が認められその後は常に蛋白が出る状態になります。蛋白が1日に1g以上いつも認められるようになると数年で腎機能は悪化して慢性腎不全状態となります。

減少させるには、糖尿病性腎症の早期発見、早期治療の取り組みが重要視され、私たち一人一人が自覚し、健康管理を考えなければならないと思います。しかし、糖尿病は自覚しにくく、早期に気付きにくいのです。そして、検査にて発見したとしても自覚症状が無い人はそのまま放置する場合があります。

病気を軽視せず、定期的に検査をし、自己管理に気をつけて欲しいと思います。定期的に検査を受けていない方、少し心配のある方など、一度、受診してみてもいいでしょうか？

### 血液透析とは？

血液透析（Hemodialysis：略称HD）は、日本で現在最も広く行われている透析療法です。

腎不全になり、腎臓がほとんど働きがなくなったときに行われる治療方法ですが、腎臓の働きのすべてを代行することはできません。

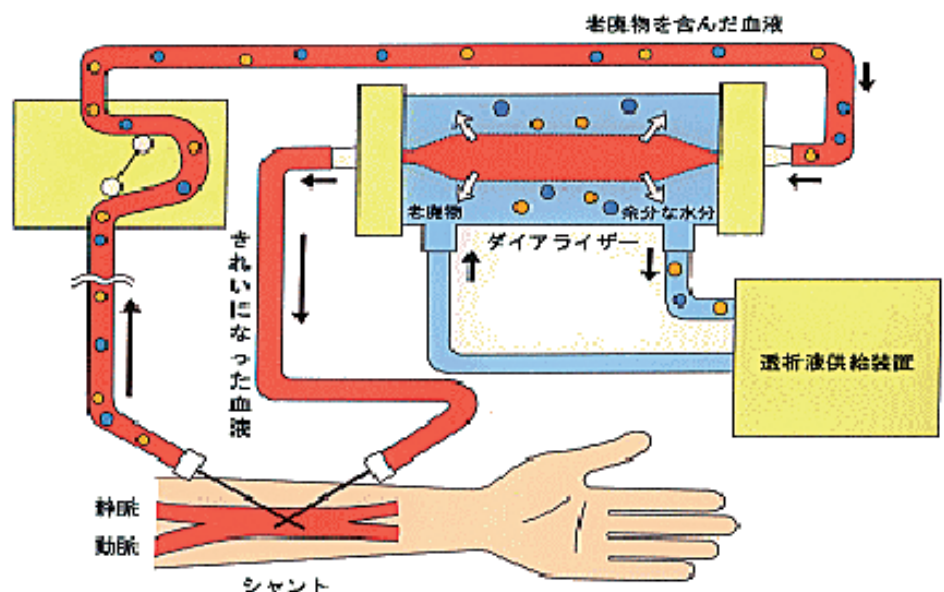
血液透析では、血液を体外に取り出し、ダイアライザーと呼ばれる透析器（人工の膜）に通すことによって、血液中の不要な老廃物や水分を取り除き、血液を浄化します。きれいになった血液は、再び体内に戻されます。

血液透析では、血管に針を刺して血液を連続的に取り出す必要があるため、簡単な手術によって、前腕の動脈と静脈を皮下でつなぎ合わせてシャントと呼ばれる血液の取り出し口を作ります。

体に必要なもの、不必要なものを選んで、取り込んだり捨てたりする働きはしていません。また、血液透析と腎臓の働いている時間を比べてみると腎臓が1日24時間をフルに働いているのに比べ、血液透析では1週間に12～15時間と短くなっています。

### 血液透析の働きは？

1. 尿毒素を取り除く。
2. 余分の水分を取り除く。
3. 電解質を調節する。
4. 血液のPHを一定に保つ。



# 運動器不安定症とは

## ～加齢によるバランス能力低下～

### ●セカンドライフ支援講座●

2006年の日本人の平均寿命は女性が85.8歳で長寿世界一、男性が79.0歳で2位、この平均寿命から日常生活に支障が出るケガや病気の期間を引いたものを「健康寿命」といいます。日本人は平均で寝たきりや要介護状態にある期間が6年以上あると考えられています。運動器の障害が健康寿命を短くする大きな要因といわれています。

骨の成長が活発化する十代から二十代までの間に栄養バランスのとれた食事をしっかり食べて適度な運動を続けていたかどうか、後々の健康状態にも大きく影響します。いつまでも元気な状態を保つためには若い時から体を動かす習慣付けが不可欠です。

「運動器」というのは首から下の内臓を除いた部分で、身体活動を担う筋肉、骨格、神経系の総称で、筋肉、腱、靭帯、骨、関節、神経、脈管系などの身体運動に関わる組織、器官によって構成されています。

「運動器不安定症」とは、高齢化により、バランス能力および移動歩行能力の低下が生じ、閉じこもり、転倒リスクが高まった状態と定義される疾患で、平成18年4月から保険診療が適用されるようになった新しい疾患概念です。

厚生労働省の国民生活基礎調査によりますと、要介護の20%、要支援の28%が関節症や骨折・転倒という運動器の疾患が原因だったといわれています。介護保険の利用者は460万人近くに上り、そのうち100万人以上は運動器の疾患が原因とされています。

加齢にともないバランス能力が低下すると、転倒・骨折リスクが高まることが問題となります。加齢と共に体力、筋力は低下しますが、特に下肢の筋力の低下が著しく、中でも、バランス能力は70歳では20歳の時の20%だといわれています。高齢者が転倒、骨折するのは、意外にも平たんな場所が4分の3を占めています。

「運動器不安定症」の予防は、高齢者のQOL（生活の質）維持・向上だけでなく、増大が懸念される介護・医療費の動向も左右する“国民的課題”で、「運動器の健康」が注目されています。運動器は、人が自分の意志で活用できる唯一の組織・臓器で、自分で改善しようと思えばできます。「健康寿命」を伸ばし、「寝たきり」にならないがために、これを機会に努めて身体を動かしましょう。

日本整形外科学会の統計によりますと、国内で「大腿骨頸部骨折」の患者の一年後の死亡率は約10%。欧米と比べれば三分の一から二分の一の水準にとどまるといわれますが、急速な高齢化に伴う患者数の増加は避けられない状況です。

次にあげる運動機能低下をきたす疾患の既往があるか、または罹患している人で、日常生活自立度あるいは運動機能が以下に示す機能評価基準1または2に該当する人が「運動器不安定症」と診断されます。

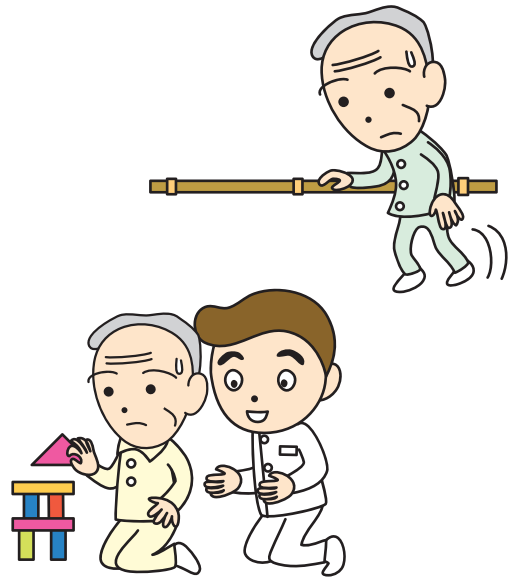
#### ●運動機能低下をきたす疾患：

- ・脊椎圧迫骨折および各種脊柱変形（亀背、高度腰椎後彎・側弯など）
- ・下肢骨折（大腿骨頸部骨折など）

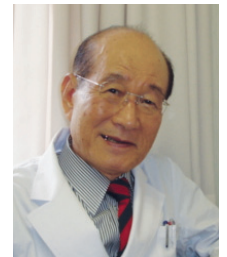
- ・骨粗鬆症
- ・変形性関節症（股関節、膝関節など）
- ・腰部脊柱管狭窄症
- ・脊髄障害（頸部脊髄症、脊髄損傷など）
- ・神経・筋疾患
- ・関節リウマチおよび各種関節炎
- ・下肢切断
- ・長期臥床後の運動器廃用
- ・高頻度転倒者

●機能評価基準：

1. 日常生活自立度：ランクJまたはA（要支援+要介護1, 2）
2. 運動機能：1) または2)
  - 1) : 開眼片脚起立時間 15秒未満
  - 2) : 3m Timed up and go test 11秒以上



本症によるリスクを避けるには、普段から足の筋力やバランス能力を高めることが大切で、開眼片脚起立訓練や大腿四頭筋訓練が有効といわれています。リハビリを行えば一定の回復が見込めますが、未然に防ぐことが先決で、そのためにはウォーキングやプール内の歩行など全身を動かすことが有効といわれています。



副院長 森 惟明

森 惟明先生の「セカンドライフ」はホームページでもご覧になれます

<http://www.i-kochi.or.jp/prv/morik/>

## 栄養だより ～ 便秘 ～

一口に便秘といっても、1日1回の通じはあるが固くて排出しにくい人や、何日も体の中にたまって不快なタイプ、精神的なストレスが原因で下痢と交互に現れる(過敏性大腸症候群)便秘など、その症状もさまざまです。

過敏性大腸症の場合は、その原因である精神的ストレスを解消することが第一ですが、食べ物も冷たすぎる物、油や繊維の多すぎる物やアルコール類はひかえるようにします。

2～3日続く便秘は、年をとったり、体質的に便を排出する力が弱いことから来るものと、便意があるのについがまんしてしまい、排便の反射がきかなくなってしまうケースとがあります。

この場合の解消法は、規則正しい排便の習慣をつけることが基本ですが、食事によるのも有効です。

腸は適度な刺激があるとぜん動運動が高まり、その結果、排便もスムーズに行われます。朝食の前に冷たい水や牛乳を飲んだり、はちみつや水飴などの、便を軟らかくする糖質を水に溶かして飲むことも効果があります。野菜や芋、豆や海藻などは繊維質が多く、ぜん動運動にもっとも有効な食べものです。





## CTが新しくなりました

H20、1月よりMDCTを稼動させております。

今までと違うところは外見ではわかりませんが、中身の検出器が違います。

“MDCT“と書いて雑誌等では書かれていますが、今までのCTは検出器”D (Detector) “が1列だけだったのが数列”M (Multi) “の検出器 (当院は16列) になり一度にたくさんの情報を集めて画像を作ることが出来ます。コンピュータの進歩によって撮影時間や画像を作る時間も早くなっています。“3D画像”や”縦断像”なども提供出来、診断に役立っています。また、被ばく線量が若干ですが少なくなりました。

稼動から3ヶ月経って技師も機械に慣れ始め徐々に良い画像を提供できるようになりました、これからも装置の性能を十分にだせるように頑張りますのでよろしくお願い致します。



## 病院医療機能評価を受審しました

昨年の5月に日本医療機能評価機構に (V5.0) 受審の申込を行い今年の2月19日、20日に受審しました。病院機能評価の調査項目は、各領域 (第1領域～第6領域) によって構成されています、受審することの目的は、病院の質の向上、職員の意識改革、現状の客観的評価、病院機能改善のきっかけ、患者様サービスの向上等です。まず、「受審して本当によかった」と実感しております。日々の業務を行いながらの受審準備は、かなり厳しい取り組みでしたが、受審が近づくにつれて他の部署との連携もとれ現在行っている業務の改善すべき点、強化すべき点などが明確化され内容を見直すことができました。まだ日本医療機能評価機構の結果は出ていませんが、受審をきっかけに全職員が一丸となって患者様や御家族の皆様が安全で安心して利用できる病院を目指しております。



## 花便り

### 雪割桜

昨年、駐車場に植えた雪割桜が、咲きました。(2月28日撮影) まだ、背丈ほどですが、染井吉野より少し早く楽しむことができます。

この雪割桜は桑田山 (須崎市) が有名で、標高769mのばん蛇森 (ばんだがもり) の中腹の桑田山地区で例年2月中旬～3月上旬にかけて見ごろをむかえるそうです。山全体には約1000本の桜の木があるそうです。



## 新しいシステムの紹介

従来より整形外科領域にとってレントゲン装置は、診断から治療に至るまでの広い範囲で切り離す事のできない関係にあります。もちろん他科においても、例えばコンピューター断層撮影（CT）は幅広い分野において診断に欠かす事の出来ない検査方法の一つでありますし、透視台は経皮的経管的血管形成術（PTA）等の加療において必要不可欠の装置で当院でもフルに稼働しています。ところが透視台は被検者の体位や透視装置の可動範囲に制限があるという弱点があり、また装置を移動させる事ができない為手術室での術中撮影が必要な場合はポータブル撮影機による静止画に頼らざるを得ませんでした。

昨年末に当院に新しく移動式X線透視装置（image intensifire）が装備されました（図1）。名前の通り移動式のX線透視装置で、手術室で術中にリアルタイムで透視画像を見ることができます。それにより骨折の手術や術中の血管造影等が可能となりました。

当院に装備されたX線透視装置（以下image）はPHILIPS社製の“BV Endura”という装置で、Cアームスタンド（図2）と移動型ビューステーション（図3）で構成されています。Cアームは文字通りアルファベットの“C”の形状をしており、上下左右はもちろんCの部分とアームの連結部で回転運動も行うこともできます。それにより患者様の体位を変えずに広い範囲で透視が可能です。またアームの部分の細く長い形状は肩関節や股関節のような軸位が撮影しづらい場所でも比較的容易に撮影することができ、骨折の手術の際の整復位の確認に非常に有用です。ただレントゲン透過性のない物は当然術中透視の妨げとなる為、例えば従来の手術用手台は使用することができません。また大腿骨骨折の加療には大腿骨骨折手術専用の牽引台が必要となります。今年になってレントゲン透過性の専用の幅広手台や下肢牽引台も装備されており、例えば救急や院内発生の大腿骨頸部骨折等にも対応できる体制が整っています（図4）。移動式ビューステーションは液晶ダブルモニターを装備した情報処理システムで、患者様のデータの保存や術中画像のプリント等が行えます。従来のimageのモニターはシングルブラウン管モニターで、例えば術中撮影時に无影灯の光が反射して見づらかったり、整復位の術中変化などが比較しづらかったりしたのですが、ダブルモニターなので処置前後の画像を見比べることが可能です。また実際使ってみると、液晶モニターは映像が鮮明で術中操作時にほとんどストレスを感じる事はありませんでした。

島津病院は麻酔科医がいらないため全身麻酔でのオペはできませんが、imageが装備された事によって整形分野においては肘より遠位の上肢、下肢、そして前述した大腿骨頸部骨折が行えるようになりました。骨折の治療は早期であればより良い整復位が獲得しやすく、内固定が早ければ早期リハビリも可能なため受傷、加療後の日常生活に影響が出てくる可能性があります。転倒などで怪我をされた際はあまり我慢をされずに、早めの整形外科受診をお勧めいたします。



整形外科 島津 裕和

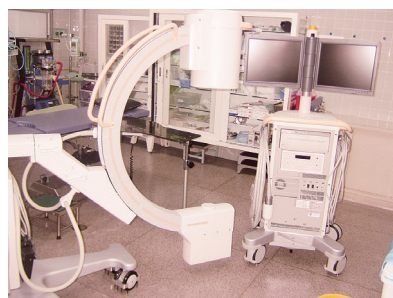


図1：移動式X線透視装置  
(image intensifere)

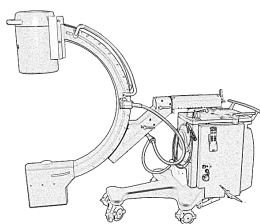


図2：Cアームスタンド

図3：移動型  
ビューステーション

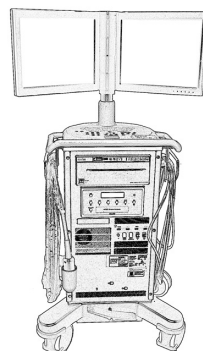


図4：セッティング練習風景

## 外来診察表

### 午前 (9:00~12:00)

	月	火	水	木	金	土
内 科	三宅・大崎	三宅・大崎	三宅	岩崎 (医大)	三宅・大崎	三宅
外 科	島津	野口	武田	島津 (裕)	島津	公家
整形外科	兼松		島津 (裕)	兼松	兼松	島津 (裕)
脳 外 科	森			森		
泌尿器科	野口	野口	野口		野口	井上 (医大)
循環器科		小田 (予約制)	小田			
消化器科 (内視鏡)	公家	公家	公家	公家	公家	公家

### 午後 (14:00~18:00)

	月	火	水	木	金	土
内 科	三宅	三宅	三宅	岩崎 (医大)	三宅	
外 科	岡林 (医大)	兼松	島津 (裕)	島津 (裕)	公家	
整形外科	兼松	兼松	兼松	兼松	島津 (裕)	
脳 外 科	森					
泌尿器科	野口	野口			野口	
循環器科		小田 (心エコー-外来)	小田 (予約制)			
放射線科					久保田 (医大)	
消化器科 (内視鏡)						

- 三宅院長 (内科) は午後から不在の場合がありますので、事前にお電話でご確認をお願いします。
- 担当医が不在の場合がありますので、事前に確認をお願いします。
- 休診日は土曜の午後・日曜・祝祭日・年末年始です。

#### 患者様の権利

- 一、個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- 二、良質な医療を平等に受ける権利があります。
- 三、個人のプライバシーが守られる権利および私的なことに干渉されない権利があります。
- 四、自分が受ける治療や検査の効果や危険性、他の治療法の有無などについて、わかりやすい説明を理解できるまで受ける権利があります。
- 五、自分の治療計画を立てる過程に参加し、自分の意思を表明し、自ら決定する権利があります。
- 六、自分が受けている医療について、知る権利があります。
- 七、患者様自らが、医療従事者と共に力をあわせて、これらの権利を守り発展させる責任があります。

#### 医療理念

「病む人への思いやりをもつて、安全で安心のできる高度な医療を提供します。」

#### 医療方針

- 一、生きることへの共感、病む人への思いやりをもって医療に従事する。
- 一、当病院の専門としている医療部門においては、医療レベルの向上に努力し、先進的医療を提供する。
- 一、病病、病診連携を大切にし、地域住民の立場に立った医療に貢献する。